

**令和8年度 未来を拓く私立学校キャリア教育サポート事業
（私立学校理工系教育パワーアップ支援事業）
委託業務に係る提案競技審査委員会審査基準**

評価項目	評価基準	配点
1 事業内容及び実施方法		60/100
・ 目的との整合性	本事業の主旨を理解した上で、生徒が理工系分野への興味・関心を高めることができ、生徒に対して理工系選択を後押しする内容となっているか。	10
・ 内容の妥当性、独創性	「0-Like講演会」について、対象となる生徒だけでなく、教員等にも効果的な講演となるよう、講師の選定や内容等について創意工夫が見られるか。	10
	「理工系への興味関心を高めるイベントの開催」について、対象となる生徒等が積極的に参加できる仕掛けとするとともに、参加者の理工系への興味関心が高まるよう内容について創意工夫が見られるか。	10
	「SNSの管理・運営」について、県内私立高校生が所属する学校での理工系に関する活動紹介や理工系企業、大学等を高校生の視点で取材投稿する等、私立高校生の理工系分野への興味関心を高めることを目的とする創意工夫が見られるか。	10
	「私立学校における特色ある理工系人材育成教育の推進」について、連携協力可能な理工系企業や大学等とのネットワークの構築や連携内容について創意工夫が見られるか。また、令和7年度事業実績を踏まえ、具体的な連携モデルの構築に向けた具体的な取組内容が記載されているか。	10
・ 実施方法の妥当性	事業の内容に具体性があり、実現可能なものになっているか。	10
2 事業の効果		20/100
・ 波及効果の有無	事業終了後も、理工系に関心に向けた考えを持ち続けてもらえることが期待できるか。	10
・ 事業遂行の効率性	事業の内容等に対して、日程、人員、作業手順、経費などが効率的・妥当であるか。	10
3 事業実施主体の適格性		20/100
・ 知見、専門性の有無	当該事業に関する知見、ノウハウ、資料作成等の事務処理能力を有しているか。	10
	関連機関との協力体制構築のためのネットワークを有しているか。	10